



願いの歴史をこれからも

前川 良太

新入園の皆さん、ようこそつばさ共同保育園へ。引き続きの皆さん、今年度もこの激動の子育て期をともに乗り越える仲間でありたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

つばさの保育はチームプレーの全員野球です。担任は保護者や子どもたちの一番近くで寄り添い、ともに歩みます。ただ担任だけが子どもたちや保護者に関わっていくわけではありません。いろんな職員が保育に入ります。それだけでなく、一人の子どもの対応や一人の親の困りごとをみんなで一緒に頭を悩ませて考えます。自分の担当のクラスだけでなく、ここで起こることのすべてが、それぞれ職員にとって自分ごととして考えたい出来事です。それは保育士だけではなく。様々な役割の職員がそれぞれの持ち味を生かしながらともに生活しています。いろんな人が我が子のことを知っている、いろんな人が自分のことを知っている、そんな場に安心できるからこそ、決してきれいごとで済まされないような困りごとも、飾らない自分自身もさらけ出しながら、ともに子育てしていけるのです。それは他の保育園や学校のあり方とまた違う、つばさの大好きなところですよ。どんな時もどんな人も、決して置き去りにはしません。「こうあらねば」、そんな鎧は脱ぎ捨てて、裸のところで日々をともにしましょう。

昨年アトム共同福祉会は設立 20 周年を迎えました。今年度は記念式典と記念誌の発行を予定しています。記念式典の日程は年間行事表をご覧ください。現役保護者の皆さんにもぜひ参加していただきたいと思っていますので改めてお知らせしますね。当日はアトム、つばさ両園を臨時休園とさせていただきますのであらかじめご了承ください。

アトムが町内の民間認可園第一号となったのは 20 年前のことですが、アトムの歴史はもっと古く、1960 年代、原子炉実験所の官舎で共同保育所としてスタートしました。当時は専業主婦が当たり前で、町立保育所は 3 歳児保育からでした。子どもを産んだ後も働きたい。そんな今ではとってもしっかり前の親の願いも、その頃は高い壁でした。そしてそんな親たちが自らの手でアトム共同保育所を設立させました。はじめは 0, 1 歳児保育のみだったアトムですが、2 歳児保育、3 歳児保育、そして 4, 5 歳児保育と発展してきたのも、ここに通わせ続けたいと願った親たちとともに作り上げたからこそ。いろんなところで「元アトムっ子です」と自己紹介している 1989 年生まれの私ですが、0 から 5 歳児まで切れ目なく通えた第 1 期生です。保育内容までも「こんな保育を」と願う親たちとともに考えてきました。そしてこんな安心できる誠実な保育所をみんなが通えるようにしたい、安定した運営の中で保育をしたい。そんな親と職員が願い、認可園への道をたどります。バザーをしたり運営費を全国の応援してくれる人たちからの寄付もたくさん届き、どうにか認可にこぎつけました。それが 20 年前です。そしてつばさができたのも「アトムみたいな園がもう一つ欲しい」、そんな親の願いを受けて 12 年前の 2012 年に開園しました。その時の地域住民向けの説明会を行ったのはなんとアトムの保護者たちです。

長々と書きましたが(これでもかなり簡素に書きました。記念誌にはかなり詳しく載せています。)何が言いたいかというと、私も含め皆さんが今日からここで日々を過ごせることは、決して当たり前ではないということです。その当時これからの先の世代にアトムを残していきたいと力を注いだ人たちの努力のおかげで、ここで過ごすことができるのです。



そしてもう一つ。アトムとつばさを作ったのは一人ひとりの願いです。アトムやつばさの保育が先にあるわけではありません。こんな保育をしたいという親と保育士の願いがあって作られてきました。だから担任一人の思いや園長の私個人のやりたい保育ではありません。みんなの共通の思いが理念にある保育です。先人たちの努力に胡坐をかくわけにはいきません。今を過ごす私たちもまた、次の世代に託していく人です。アトムっ子である私が、ここに職員として帰ってきたのはそのためです。未熟でも園長としてここにいるのはそのためです。みなさんはどんな保育園を次の20年後の世代に残していきたいですか？次に託すのはそんな皆さん一人ひとりの願いです。そんなことをたくさん語らいながら、節目の20年を一緒にお祝いする1年でありたいと思います。

